

第14回 生活展

なご 健やか 和やか 暮らしの輪



△保健婦人センターでは初めての生活展



△ミカンやイチゴの入った手づくりのもちを試食

三月四日(土)、五日(日)の二日間、保健婦人センターで「生活展」が開催され、四千人の市民でにぎわいました。

十四回を迎えたことしは、「みんなで考えよう健康」をメインテーマに、富士市連合婦人会など婦人を中心とした二十団体が参加しました。会場には、「あなたは長生きできますか?」、「手づくりの自然食品を見直そう」、「いま緑があぶない、みんなで緑を考えよう」など、健康にかかわるさまざまな実演や展示が行われました。またテレビまくらなど千四百本の賞品を用意した抽せん会もあり、開場早々に一等を引き当てた好運な人もいました。



△入口からお客さんがぞろぞろ



△朝市でーす、新鮮でーす!

大きくなつてカレーに入れ

ジャガイモの植えつけ

— 2月28日・市立南幼稚園 —



△どのジャガイモにしようかな

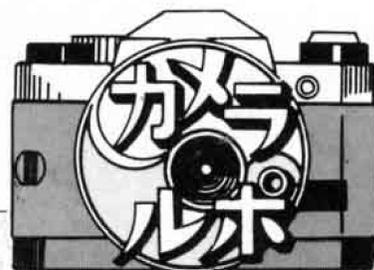


△大きな穴を手で掘って

雨の合間をぬつて、市立南幼稚園の園児四十二人が、ジャガイモの植えつけをしました。

ジャガイモは毎年、芽の出る前のこの時期に植えつけ、五月に収穫しますが、園児は、このジャガイモを入れて幼稚園でつくるカレーが大好きです。家に帰って「幼稚園で食べたカレーが一番おいしい」と話すので、つくり方について母親からの問い合わせもあります。

やはり植えつけ、除草、収穫と、自分たちで汗を流してつくつたジャガイモが一番おいしいようですね。



つかえないで跳べたね

— 2月23日・今泉小学校 —

今泉小学校の児童全員が参加し、縄跳び大会が行われました。

種目は、両足跳び、あや跳び、交差跳びなどで、高学年になるほど難しくなります。思い切り回した綱がピシッと体に当たり、「痛い！」の声も聞かれました。

▷交差跳びだよ



△えい！二重跳び